



2024年5月14日

各位

上場会社名 株式会社三栄コーポレーション
代表者 代表取締役社長 水越雅己
(コード番号 8119)
問合せ先責任者 財務部長 岡崎克則
(TEL 03-3847-3500)

業績予想と実績の差異および特別損失の計上 ならびに期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ

当社は、2024年3月期連結決算において、下記のとおり特別損失を計上するとともに、2024年3月期(2023年4月1日～2024年3月31日)の業績予想(個別業績予想は2023年10月31日の公表、連結業績予想は2024年2月2日の公表)と本日公表の実績に差異が生じました。加えて、2024年2月2日に公表した期末配当予想を修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績の差異

(1) 2024年3月期通期連結業績予想と実績の差異(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	37,000	850	850	450	191.32
実績値 (B)	36,688	1,163	1,248	538	225.84
増減額 (B-A)	△311	313	398	88	
増減率 (%)	△0.8	36.9	46.8	19.6	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	38,654	238	258	△158	△66.21

(2) 2024年3月期通期個別業績予想と実績の差異(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	19,000	700	300	124.82
実績値 (B)	20,499	843	446	187.57
増減額 (B-A)	1,499	143	146	
増減率 (%)	7.9%	20.6%	49.0%	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	15,159	125	132	55.47

連結及び個別の差異が生じた理由

売上面においては、3月の訪日外国客数が単月で過去最高となるなど右肩上がりのインバウンド需要を背景に、特に第4四半期において服飾雑貨事業セグメントの売上げが伸長したことから、個別業績は前回予想を上回りましたが、連結子会社の売上げは伸び悩んだことから、連結業績は概ね前回予想どおりの結果となりました。

利益面につきましては、引き続き収益力の改善に注力した結果、売上総利益率が改善し、売上総利益が増加したことに加え、販管費の削減も進んだことから、営業利益、経常利益につきましては、連結・個別業績（個別は経常利益のみ公表）ともに前回予想を上回る結果となりました。連結業績では関係会社整理損等の特別損失の計上があったものの、親会社株主に帰属する当期純利益（個別は当期純利益）につきましても、経常利益の増加を主因に前回予想を上回る結果となりました。

2. 特別損失の計上

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、主に当社子会社における採算性が悪化している小売店舗の固定資産について、将来の回収可能性を検討した結果、減損処理を行うことが妥当であると判断し、当連結会計年度において減損損失161百万円を特別損失に計上いたしました。

また、2024年2月に解散した当社子会社(株)エッセンコーポレーションにおいて、棚卸資産の廃棄や退職金等の関係会社整理損126百万円を特別損失に計上しました。

その結果、当連結会計年度における特別損失は、以下となりました。

固定資産除却損	14百万円
賃貸借契約解約損	16百万円
減損損失	161百万円
関係会社整理損	126百万円
特別損失合計	319百万円

3. 期末配当予想の修正

本年2月2日に公表した決算短信における2024年3月期の期末配当予想を、以下のとおり修正しました。

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2024年2月2日公表)		10円00銭	20円00銭
今回発表予想 (2024年3月期)		70円00銭	80円00銭
当期実績	10円00銭		
前期実績(ご参考) (2023年3月期)	10円00銭	10円00銭	20円00銭

期末配当予想修正の理由

前述の理由により、2024年3月期の連結業績における親会社株主に帰属する当期純利益が前回予想を上回る結果となりましたので、当社の配当方針などを踏まえ、期末配当金の予想額を1株当たり70円に修正いたしました。

これにより、1株当たり年間配当金は、中間配当金の10円と合わせて80円となり、前期実績対比60円の増配を予想しております。

以上